

**U-12サッカーリーグIN 北海道十勝地区リーグ2025 兼
第49回 JFA全日本U-12サッカー選手権大会十勝地区予選 兼
第30回 勝毎杯とかちU-12サッカーリーグ**

開 催 要 項

1. 主 旨 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。
2. 主 催 (公財)日本サッカー協会・(公財)北海道サッカー協会・(一社)十勝地区サッカー協会
(株)十勝毎日新聞社
3. 主 管 (一社)十勝地区サッカー協会・十勝少年サッカー連盟
4. 後 援 十勝教育局・帯広市教育委員会
5. 期 日 1次ラウンド 5月10日(土)、17日(土)
2次ラウンド 6月28日(土)、7月19日(土)、20日(日)
3次ラウンド 8月16日(土)、17日(日)、30日(土)
※予備日 5月11日(日)、5月18日(日)、6月29日(日)、7月21日(月祝)、8月31日(日)
6. 会 場 十勝川河川敷サッカー場
7. 参 加 資 格 (1)「参加チーム」は、大会実施年度に(公財)北海道サッカー協会第4種に加盟登録した選手であること。
(2)上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じ継続して活動していること。
(3)「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
(4)地区大会第2ラウンド終了後から第3ラウンド開始までの間であれば同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍を認めるが、その後、決勝大会に至るまでに同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
※複数チームで参加している場合、複数チーム間での選手の移動は認めないものとする。
【十勝地区限りの例外規定】
本大会の開催期間中に(公財)北海道サッカー協会第4種に新規に選手登録をした選手は、登録を完了した次のラウンドからの参加を例外的に認める。
(第1ラウンド開催期間中の登録→第2ラウンドから参加可能等)
追加して登録を希望する選手が生じた場合は速やかに事務局に報告すること。
(5)女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内の他の加盟チームから選手を参加させることも可能とする。但し、前項(3)は適用される。
(6)「参加チーム」及び「参加選手」は当該チームの地区予選の登録選手が20人に満たない場合は、地区予選終了後「加盟チーム」内の選手の中から補充ができる。
(7)指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入り1名以上が原則(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有すること。
(8)「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
(9)「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険等)に加入していること。
(10)「参加チーム」はリーグ戦に伴う指導者研修会、審判研修会に必ず参加しなければならない。
8. 参加チーム及びその数 「参加チーム」の構成は、選手20名以内、引率指導者6名以内とするが、6学年の人数がそれを超えるチームはその人数まで登録を認める。ベンチ入り人数は別途規定あり。「11.競技会規定-(3)」参照
複数チームの参加を認めるが、6学年の人数が14名以上であることを要する。
但し、参加チーム数により日程消化が困難であると判断した場合は、複数チームの参加を認めない場合があるが、可能な場合は6学年の人数が多いチームより優先する。
9. 大会形式 (1)3ステージ制とする。
① 第1ラウンドは、おおよそ5チーム1ブロックで7ブロックのリーグ戦を行い、成績上位の数チームが第2ラウンドへ進む。
② 第2ラウンドは、おおよそ7チーム1ブロックで3ブロックのリーグ戦を行い、成績上位の数チームが第3ラウンドへ進む。他は順位別リーグを行う。
③ 第3ラウンドは、おおよそ6チーム1ブロックで2ブロックのリーグ戦を行い、その後2ブロックの同順位同士で順位決定戦を行う。他は順位別リーグを行う。
順位決定戦は1位同士の試合の勝者を第1代表、敗者を第2代表とする。2位同士の試合の勝者を第3代表、敗者を第4代表とする。3位同士の試合の勝者を第5代表とする。

- ※ 参加チーム数によって変更あり
- (2) 各ステージ順位は勝点（勝－3点、引分－1点、負－0点）、得失点差、総得点、対戦相手の戦績の順で決定する。ただし、代表に関わるブロック順位において同率の場合はリーグ戦終了後いわゆるPK方式で順位を決定する。
- (3) 代表チームの決定プロセスにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響等により、試合が行えなかった場合の対応は次のとおりとする。
- ① 第3ラウンドまで完了しているが道東ブロック予選の代表決定試合が実施できない場合は、十勝地区第1代表(9項(1)による)のチームを十勝地区代表のチームとする。
その後の道東代表チームの選考方法は道東ブロックでの取り決めによる。
 - ② 第2ラウンドまで完了しているが、第3ラウンドの代表決定リーグを実施できない場合においては、2次ラウンド決勝リーグの各ブロック1位のチームを十勝地区の第1代表から第3代表として選出する。各ブロック2位のうち上位2チームを第4代表から第5代表として選出する。なお、各ブロックの1位同士、並びに2位同士の順位決定方法は9項(2)による。
 - ③ 第1ラウンドまで完了しているが、第2ラウンドの試合を完結できない場合は、第1ラウンド各ブロック1位のチームによる代表決定のためのトーナメント戦を実施するか、それも不可能な場合においては、1次ラウンドの成績上位の5チームを代表チームとする。順位決定方法は9項(2)による。

10. 競技規則

(公財) 日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

11. 競技会規定

- (1) 競技のフィールド
 - ① フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）50mとする。
 - ② その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
 - ③ ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
※ ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
 - ④ 交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーン設ける（ハーフウェーを挟んで3mずつ）
- (2) 試合球
少年用4号球を使用する。
- (3) 競技者の数
競技者の数：8名（6名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3とし敗戦したもののみならず。試合中に怪我等による人数不足により6名に満たなくなった場合、その時点で試合を停止し、試合の扱いについては大会本部で協議・決定する）
交代要員の数：8名以内
交代を行うことのできる数：制限なし（交代して退いた競技者は交代要員となり再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
6学年だけでベンチ入り人数が16名を超えるチームは超過した人数までベンチ入りを認める。超過するベンチ入りメンバーに5学年以下の混成は認めない。
- (4) ベンチ入りする役員の数
ベンチ入りできる役員の数：2人(原則)以上3人以下とする。原則、内1名は(公財)日本サッカー協会公認資格（D級以上）を有すること。
- (5) 審判員
主審1名、副審2名、第4審判1名の計4名で割り当てどおり審判運営を行う。
- (6) テクニカルエリア
設置する。
テクニカルエリア内で、その都度ただ一人が戦術的指示を与えることができる。
(その他の者は指示を与えることはできない。)
※ 座っている、立っているに関わらず指示を与えられるのは1名のみであることに留意。
- (7) 競技者の用具・ユニフォーム
 - ① (公財) 日本サッカー協会ユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、本項②以下については、一部、本大会の緩和規定として採用する。(地区大会のみの緩和であることに十分留意すること。)
 - ② 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ・ショーツおよびソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。(正・副の2色については、明確に異なる色とする。)
※ ソックスは競技規則に沿ったものでかつ、チーム内で色彩を統一すること。
※ なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても、同系色のユニフォームであれば着用可能とする。
 - ③ 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立ち合いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は登録された2組のユニフォームの内から、シャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)
 - ④ ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとなる場合（逆の場合も）

については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手と区別がつくものであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。

- ⑤ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑥ アンダーシャツ・タイツの色は問わないが、チーム内で同色のものを着用する。
- ⑦ フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。また、アームバンドの代用としてテープなどを着用することができる。
- ⑧ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑨ 選手番号の参加申込締切日以降の変更は原則認めない。
- ⑩ ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種部会が別途定める規定に基づくものでなければならず2025年4月21日(月)までに(公財)北海道サッカー協会に承認された場合にのみ認められる。

※(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を提示することが認められる。ただし、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

(8) 試合時間

全ラウンド共通

試合時間は40分(前後半各20分)、ハーフタイムのインターバルは7分とする。

第3ラウンド順位決定戦

試合時間は40分(前後半各20分)、ハーフタイムのインターバルは7分とする。

前後半で勝敗が決しない場合は、いわゆるPK方式で順位を決定する。

代表選出に関わる試合のみ、10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合は、PK方式によって代表チーム(もしくは代表順位)を決定する。

延長戦に入る前のインターバルは原則5分間、PK方式に入る前のインターバルは原則1分間とする。

※ハーフタイムのインターバルは前半終了の笛から後半開始までとする。

※暑熱下において、前・後半中程に飲水タイムもしくはクーリングブレイクを採用することがある。

※暑熱下の特別タイムテーブル採用の場合は、試合時間を30分(前後半15分)とすることがある。

※参加チーム数により変更あり

(9) 交代の手続き

①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。

②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

③交代は、インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

④交代は、主審・第4審判の承認を得る必要はない。

⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(10) 負傷者の対応

主審が認めた場合にのみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

- (11) 1次ラウンドの各試合、参加チームにつき最低1試合、大会本部からマッチウエルフェアオフィサーを配置し、選手にとってよりよい環境で試合が実施できるよう、助言等を行うよう予定する。

※MWOにより選手への暴言や暴力、その他の指導者としてふさわしくない行為が認められ、報告書などにより通知した後も改善が認められない場合は、本大会へのベンチ入りについて、許可しないことがある。

- (12) 試合会場でのアップは、設営時間や撤収時間に関わらず、チームに決められた集合時間以降であれば認めるが、大会で使用するコートやゴールを使ったアップは行わないこと。また、マーカーやコーンを置いてのアップも認めるが、チーム同士で場所を譲り合って使用すること。アップでの笛の使用は禁止する。また、ハーフタイムのコートを使用したアップについては当該チーム(試合中のチーム)のみ認める。

12. 懲 罰

- (1) 本大会は(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規定に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。
- (2) 大会規律委員会の委員長は(一社)十勝地区サッカー協会第4種委員長とする。
- (3) 本大会の予選は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (4) 本大会で退場を命じられた者は、自動的に次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (6) 前項により出場停止処分を受けたとき、各ラウンド終了時点で警告の累積が1回のとき、または、本大会が終了した時に警告の累積は消滅する。

- (7) 道大会終了時点で本地区代表の未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近の公式大会で消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (8) その他、本大会の懲罰に関する事項に関しては本大会の大会規律委員会が決定する。

13. 大会参加申し込み

1次登録はチーム当たり役員6名・選手20名を最大とする。

登録する役員のうち1名を監督とする。

「参加チーム」は以下のとおり参加申し込みをすること。

- (1) **参加申込書・メンバー登録票・チーム紹介・集合写真の一括提出**
※圧縮ファイルにはしないこと。エクセルの書式は変更しないこと。
参加申込書・メンバー登録票・チーム紹介は所定のファイルで、写真はJPEGデータで下記申込み先にEメール1通で提出すること。
- (2) 大会参加料 20,000円（内連盟負担金500円を含む）の納入 申込み締切日までに下記指定口座に納入すること。
- (3) 複数参加希望のチームは、申込み締め切り後、事務局より複数参加を認められた場合に2チーム目の記載をした（1）の再提出と、2チーム目の参加料を納入すること。
 また、希望チームは複数参加を認められた場合に備えて、複数チームでの集合写真とメンバー票、チーム紹介の準備は済ませておくこと。
- (4) 選手変更・追加登録は、監督会議の前日まで所定のファイルにより再提出すること。
- (5) **参加申込み締切 2025年4月15日(火) 17時必着とする。**
 ※（公財）日本サッカー協会への選手登録4月9日(水)を締め切りとする。
- (6) 「参加チーム」は1次登録選手が16名を超える場合は、選手20名以内から16名を試合開始30分前までに登録選手として大会本部に報告しなければならない。
 ※ラウンドごとに登録選手を指定する場合は、一括での報告を認める。
 6学年だけの選手構成でこれを超える場合は「11.競技会規定-(3)」参照同様とする。
 指導者は、本大会登録指導者の中から2名以上3名以下を各試合毎に選出しベンチ入りすることができる。（原則1名はD級以上の有資格者であること。）
 ※指導者の追加・変更はラウンド間のみ認める。ベンチには最低2名の指導者が必要
 ため、十分考慮して登録すること。

【申込み先・申込みの問合せ】

吉田慎也 （一社）十勝地区サッカー協会4種事務局次長

Eメールアドレス： shi.yoshida48@gmail.com / 携帯： 090-2875-3986

【競技事項の問い合わせ】

宇野和哉 （一社）十勝地区サッカー協会4種委員長

Eメールアドレス： monpy@sea.plala.or.jp / 携帯： 090-2814-2267

大会参加料等振込口座

（振込用紙に必ず大会名「2025 U12サッカーリーグ参加料」、チーム名を記載すること）

銀行名： ゆうちょ銀行

口座番号： 02730-8-39544（郵便振替口座）

口座名： 十勝少年サッカー連盟

14. 選手証

出場チームは、（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

大会初日、自チームの第一試合開始前に確認を受けること。出場選手が不在の場合は次節以降に順次確認を受けるものとする。

※選手証とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・

登録選手一覧を印刷したものに限る。

スマートフォンやPC等の画面に表示したものは認めない。

15. 組合せ

組み合わせ抽選は4月29日(火祝)の総合開会式の会場で主将による抽選で行う。

16. 帯同審判

- (1) 出場チームは（公財）日本サッカー協会審判員を2名以上帯同させること。なお、そのうち1名以上は3級以上の審判員とする。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込み書に記載すること。
- (2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとし、主審・副審1は（3級以上）の者が行き、副審2・第4審審判は（4級以上）のものが行く。
- (3) （3級以上）を帯同できない場合は、申込み締切日までに下記あてまで連絡し、不帯同料として一試合毎3,000円を大会当日の朝、本部に納入すること。
- (4) 長期リーグのため（3級以上）を帯同出来ない日や、審判員が1名しか帯同できない日がある場合は、早急に応答問い合わせ先に連絡すること。順位別リーグを含めた全試合において不帯同申請を認める。不帯同とする場合は、上記不帯同料を本部に納入の上、4級以上の審判員1名を帯同し、審判業務にあたること。
- (5) 組合せによっては、順位別リーグにおいて3級以上帯同制を取らない場合がある。3級以上帯同制を取らない試合については、4級以上を2名帯同し、審判業務にあたること。

【審判に関する問い合わせ】

喜多 翼 (一社) 十勝地区サッカー協会 4種審判委員長

メールアドレス: tsubasa_n1m1m1s3@yahoo.co.jp

17. 監督会議 2025年4月25日(金) 19時 ZOOMIによるオンライン会議とする。
監督又はそれに準ずる者が出席すること。欠席の場合は本大会への参加を停止すること
や大会当番の割り当てなどの懲戒措置をとる。
また、監督会議へは会議に専念できる環境での参加を義務づける。(練習中などの参加は
認めない)
18. 開会式 行わない。
19. 閉会式 第3ラウンドの終了日に十勝川河川敷会場において、道東大会の出場権を得た全チームの
表彰を行う。(5チーム。参加チームによっては変更あり。)
※日程変更の際は変更することがある。
20. その他 (1) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への
出場を停止する。その後の措置は(一社)十勝地区サッカー協会の管轄とする。
(2) 大会参加にあつたては指導者、後援会を問わずプレイヤーズファーストの理念の基に
年度初めに説明した「大会参加にあつたての注意事項」を遵守しなければならない。
(3) 荒天・震災・雷等、不足の事態が発生した場合は主管地区協会4種委員会
(4種委員長、副委員長、事務局長、審判委員長などで構成)において協議のうえ
対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
(4) 大会実施会場において、地震、大雨、火災、台風等の災害発生時には、大会運営本部
の役員の指示に従うほか、事前に各チームにおいて、避難経路や避難場所の確認を行
っておくこと。
(5) 観客席は選手席のコートを挟んだ向かい側に限定する。
(6) 父母席(観客席)からのサイドコーチングを禁止する。
(7) 欠席は基本的に認めないが、学校行事で不都合な日がある場合は事務局に申し出ること。
対応できない場合は0-3の不戦敗とする。(感染症等の理由で欠席の場合も同様とする)
(8) 道東大会進出チームが何らかの事情で大会に出場できなくなった場合、第3ラウンド
決勝リーグ最終順位を繰り上げることで、代表チームおよび代表順位を決定する。
(9) 道東ブロック大会 2025年9月20日(土)十勝地区
全道大会 2025年10月11日(土)、12日(日)、13日(月・祝) 苫小牧地区

以上